

株式会社りんくう北中



2014 年度 環境活動レポート

(2014年9月～2014年12月)



作成日: 2015年1月20日
更新日:



環境方針

<環境理念>

株式会社りんくう北中は、地球温暖化・オゾン層破壊・酸性雨等の環境問題が年々深刻化していることを認識し、環境問題を少しでも抑えるべく、省エネルギーやリサイクルへなど総合的な環境経営に取組み、社会貢献いたします。

<環境活動方針>

1. 事業活動にかかわる環境関連の法規・条例及び当社が約束した要求事項を遵守します。
2. 当社のすべての事業活動において環境に与える負荷を削減するため、環境目標を定め、次の事項に重点的に取り組みます。
 - ①二酸化炭素の削減
 - ②水資源の削減
 - ③廃棄物の削減
 - ④化学物質の適正な管理
 - ⑤グリーン購入の推進
 - ⑥環境配慮サービスの推進
3. 環境マネジメントシステムを導入し、環境経営の継続的な改善に努めます。
4. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。
5. この環境方針は全従業員に周知するとともに、社外へも公表します。

制定日：2014年10月1日
改定日：

株式会社りんくう北中

代表取締役
菊川 勇

□登録事業所の概要



(1) 事業所名及び代表者名

株式会社 りんくう北中
代表取締役 菊川 勇

(2) 所在地

本社:大阪府泉佐野市下瓦屋5丁目2番8号
大阪支店:大阪市東成区深江北1丁目3番1号ツカサロイヤルビル301
岸和田支店:大阪府岸和田市五軒屋町6-11
貝塚営業所:大阪府貝塚市澤156番地
阪南営業所:大阪府阪南市自然田1151番地-5

(3) 環境管理責任者氏名及び担当者連絡先

環境管理責任者 業務部 部長 長瀬 剛
環境管理担当者 営業部 課長 山田 勝毅
本社TEL:072-464-8807 FAX:072-464-9078

(4) 事業内容(認証・登録の範囲)

総合ビルメンテナンス業(清掃業務、警備業務、設備管理業務、リース業務)

(5) 事業の規模

	本社	大阪支店	岸和田支店	貝塚営業所	阪南営業所
延べ床面積	126m ²	80m ²	80m ²	47m ²	72m ²
社有車台数	5台	0台	0台	0台	0台

(6) 事業年度 10月~9月

項目	単位	2013年度 (基準年度)	2014年度
二酸化炭素排出量 (対象:エネルギー総量)	kg-CO ₂ /年	18,965	18,775
一般廃棄物量排出量	kg/年	63,552	63,361
総排水量	m ³ /年	91	90

(注)産業廃棄物はありません。

□ 認証・登録の対象組織・活動

登録組織名:株式会社りんくう北中

活動:全組織・全活動

□環境目標及びその実績



(目標)

項目	年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度	2017年度
		(基準年度)	(目標)	(目標)	(目標)	(目標)
電力の二酸化炭素排出量削減 削減率	(kg-CO ₂)	4,090 100%	4,049 99%	4,008 98%	3,967 97%	3,926 96%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減 削減率	kg-CO ₂)	14,875 100%	14,726 99%	14,578 98%	14,429 97%	14,280 96%
二酸化炭素排出量合計	(kg-CO₂)	18,965	18,775	18,586	18,396	18,206
一般廃棄物の削減 削減率	(kg/年)	63,552 100%	63,361 99.7%	63,234 99.5%	63,107 99.3%	62,916 99.0%
水道水の削減 削減率	(m ³ /年)	90.5 100%	90.0 99.5%	89.6 99.0%	89.1 98.5%	88.7 98.0%
グリーン購入 増加率	(点数/月)	120 100%	126 105%	132 110%	134 112%	137 114%
地域環境保全活動 増加率	(回数/月)	50回 100%	50回 100%	51回 101%	51回 102%	52回 103%

(注)産業廃棄物はありません。

(注)電力の二酸化炭素排出係数は0.514(kg-CO₂/kWh)を使用

※地域環境保全活動については 月4回(会社周辺清掃)+その他のクリーン活動:48回+ α とする。

(実績)

項目	年度	2013年度 (基準年度)		2014年度	
		(2013/09~2013/12)		(2014/09~2014/12)	
		(目標)	(実績)	(目標)	(実績)
電力の二酸化炭素排出量削減 削減率	(kg-CO ₂)		1,316 100.0%	1,303 99.0%	1,063 81.6%
ガソリンの二酸化炭素排出量削減 削減率	kg-CO ₂)		4,729 100.0%	4,682 99.0%	4,824 103.0%
二酸化炭素排出量合計	(kg-CO₂)				
一般廃棄物の削減	(kg/年)		21,184 100.0%	21,120 99.7%	21,220 100.5%
水道水の削減	(m ³ /年)		32.0 100.0%	31.8 99.5%	37.0 116.4%
グリーン購入	(点数/月)		44.0 100.0%	46.0 105.0%	95.0 206.5%
地域環境保全活動	(回数/月)		17回 100.0%	17回 100.0%	16回 94.1%

(注)2014年09月~のため、2013年度の目標設定はありません。

□環境活動の取り組み計画と評価



取り組み計画	達成状況		単位 基準年度比 目標比	評価(結果と今後の方向)
	基準年度	実績		
電力の削減 ●省エネ目標の説明 ●節電運動展開(不要照明の消灯) ●クールビズ運動(ノーネクタイの奨励) ●空調機の冷房28℃ 暖房22℃ ●未使用電気製品の電源オフ ●閑空事業所においても上記の運動を実施する	基準年度	1,316	kg-CO ₂	○目標達成 ①事務所を使用する際、つける箇所を減らした事。②節電マークを貼り意識を向上させた事。③事務所内の一部の電球を白熱球からLED球へ替えた事。 上記により、大幅目標達成できた。可能なところから節電していく。
	目標	1,303	99.0%	
	実績	1,063	81.6%	
自動車燃料の削減 ●自動車燃費向上目標の説明 ●急加速・急停車防止(エコドライブシールの貼付) ●冷暖房の控え目使用(冷房28℃ 暖房22℃) ●車両運行記録簿により走行距離を記録 ●ハイブリッド車の購入(買換え時)	基準年度	4,729	kg-CO ₂	×目標未達成 ①燃費の悪い営業車を処分し、新たにハイブリット車を1台導入した。②市内へ行く場合は極力電車の利用を増やした。③自動車運転中、急発進・急加速をしないなどエコドライブを徹底した。上記対策を試みたが、仕事量増加により目標は達成できなかった。エコ車の買い替え検討。
	目標	4,682	99.0%	
	実績	4,824	103.0%	
一般廃棄物の削減 ●一般廃棄物削減目標説明 ●ミスコピーの防止 ●帳票見直しによる印刷物の削減(電子ファイル化) ●FAX用紙の削減(PC-FAXを使用)	基準年度	21,184	kg-CO ₂	×目標未達成 ①紙媒体の電子化(PDF) ②裏紙利用等のリサイクル 上記を積極的に取り組んだが、仕事量増加により、目標を達成できなかった。今後も引き続き分別を徹底する。
	目標	21,120	99.7%	
	実績	21,220	100.5%	
水道水の削減 ●水道水削減目標説明 ●トイレ節水弁取り付け	基準年度	32.0	m ³	×目標未達成 全体使用量が少なかったため、仕事量増加影響が顕著に現れた。今後も節水に努める。
	目標	31.8	99.4%	
	実績	37.0	116.4%	
グリーン購入 ●印刷・情報用紙のグリーン購入 ●トイレトペーパーのグリーン購入 ●文具・事務用品のグリーン購入 ●自動車のグリーン購入(5月予定) ※毎月11点以上のグリーン購入を行う	基準年度	44点以上	点数	○目標達成 グリーン購入も価格面でも安くなり、購入しやすくなってきている。対象商品を検討していき、購入品目を増やしていきたい。自動車はハイブリット車に可能な限り変更していく。
	目標	46点以上	105%	
	実績	95点	216%	
地域環境保全活動 ●本社周辺の地域清掃(週1回) ●泉佐野市環境美化活動への参加(9月、2月)	基準年度	17回以上	回数	×目標未達成 週1回月曜日(祝日の場合は火曜日)2名で会社周辺の清掃実施。泉佐野市環境美化活動協力事業所をしたので、2月6日については参加する。他にもクリーン活動があれば積極的に参加していく。
	目標	17回以上	100%	
	実績	16回	94%	
化学物質の適正な管理 ●化学物質の適正な管理 ●MSDSの入手 ●保管場所の整理整頓 ●盗難防止処置 ●取扱教育の徹底 ※処理、取扱管理なので、数量管理等は実施しない。	基準年度	-	点数	○目標達成 ハクリスタープロ10(剥離剤)は火気厳禁であることを認識する。保管方法、使用方法の教育を責任者に実施する。剥離作業中のハクリスターの使用は責任者のみで徹底する。作業後の汚物については一般廃棄物処理をする。汚水についてはPH試験紙で中性であるかどうか確認し、適正な処理を施す。
	目標	-	-	
	実績	-	-	

□環境関連法規制等の順守状況



法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	適用される事項(施設・物質・事業活動等)	遵守
廃棄物処理法	・一般廃棄物・事業活動に伴って生じた廃棄物	○
騒音規制法	・自社ビル	○
振動規制法	・営業用乗用車	○
悪臭防止法	・自社ビル	○
下水道法	・自社ビル	○
自動車 NOX・PM法	・ディーゼル車 (社有車0台のため該当なし)	○
自動車リサイクル法	・営業車2台	○
家電リサイクル法	・エアコン、テレビ、冷蔵庫、洗濯機、衣類乾燥機	○
建築物衛生法	・ビル管理業務請負時	○
浄化槽法	・浄化槽本体	○
フロン排出抑制法	・業務用空調機	○
労働安全衛生法	・労働安全衛生上、月1労働衛生会議	○
消防法	・自社ビルおよび業務受注相手先ビル	○
	・ハクリスタープロ10(第4類第三石油類)	
PRTR法	・ハクリスタープロ10(2-アミノエタノール)	○

環境関連法規制等の順守状況の評価の結果、環境法規制等の違反はありませんでした。

また、関係当局よりの違反等の指摘や訴訟は、過去3年間ありません。

□地域環境保全活動を紹介



- 泉佐野市環境美化活動協力事業所の登録
- 泉佐野市環境美化活動への参加(9月、2月)

・平成27年1月21日(水)泉佐野市環境美化活動協力事業所の登録は済み。

・泉佐野市環境美化活動への参加
日時：平成27年2月6日(金) 10:00～

地域ゴミ置き場の清掃(毎週月曜日)
(参加者:助野 大塚 の2名)



会社周辺清掃状況

この度平成26年9月から12月まで4か月間エコアクションの運用をしました。結果を見る限りガソリンの使用量を始め、まだまだ減らす事ができると体感しました。求人難等人手不足の影響もまだ未解決な状況で、その影響が業務に現れているので、人出不足を解消し、全従業員が心のゆとりをもった状態で「安心安全」「環境経営」を意識し業務に努める事で更に二酸化炭素の削減は可能であると考えます。

環境経営は、事業者としての社会的責任であるので、「ひとりひとりが今できる事」をしっかりと教育していき、会社全体で環境活動に取り組んで、事業発展につなげていきたい。

□次回環境活動レポート発行予定日

2015年11月発行予定です。